



「いじり」はいじめである！

校 長 松山 浩行

新年度が始まり2ヶ月が経ちました。授業、行事等を通して、新しい学年、クラスでの生活に慣れてきて、学校生活を順調に送っている生徒の姿が様々なところで見られます。

しかし、慣れは同時にお互いの思いやりや考えが交錯する時期でもあり、思春期特有の自信のなさや人の目を気にしたり、人より劣っていると感じたり、自分には能力がないと思ったりする生徒が増えてきています。それと同時に自分は周囲から何を期待されているのか、何を求められているのかということを察するようになり、その周囲からの期待がプレッシャーになり、大きなストレスになりがちです。

中学生期の子どもたちは、個々の違いはありますが周囲からどのようにみられているのかを必要以上に気にして、人と同じことに安心し、似ている者同士でグループ化しやすいです。このようなことから無理に周りに合わせたり、周囲と違う部分を敏感に気にしたり、自分（たち）とは異なるタイプを受け入れなかったりします。このようなことは、現代だからあるという現象ではなく、保護者の皆さんの中学生、高校生の頃も多かれ少なかれあったのではないのでしょうか。今の時代、昔と大きく違うところは、人と接する機会が少なくなったことでしょうか。特にコロナ禍での4年間、社会全体で人との接触が制限されました。これは学校現場でも同じであり、生徒同士の対面でのコミュニケーションでは言葉以外にもマスクをすることで、表情や視線など多くの情報がお互いに読み取れず、その伝え方や読み取り方を体験する機会が少なかったため、人間関係を築くスキルを身に付けることが難しかったのかもしれない。また、大人も子どももSNSでのやり取りは、文字以外の情報が読み取りにくく、トラブルのもとになりやすいと言えます。生徒同士の関係性では、笑いをとるために人や友達の手強い部分やネガティブな面をからかい、おちよくなるような「いじり」があります。やられる方を「いじられキャラ」などと呼ぶことがあります。

「いじり」は「いじめ」と全く同じです。いじりを受けている方も「いじられキャラ」が自分の存在意義であると思ひ込み、グループ内に居場所を確保しようとするがゆえに演じ続けてしまう子ども達もいます。しかし、自分が気づかなくても身体症状などに現れて、初めて自分にとって周囲からいじられるキャラを演じることは苦痛だったことを自覚するという例もあります。

「いじる」…。相手をからかう側は、楽しく、面白いじっているつもりであっても受ける側が苦痛であったり、それを表情に表していなくても心を大きく傷つけられたりしていることに違いはありません。中学生にもなれば相手の心情を想像することが十分できる年齢です。楽しさや面白さのために人を傷つけたり、人に傷つけられたりしてはならない。6月の全校朝礼でも生徒たちに話をしましたが、「いじりはいじめと同じである」「いじめは人権侵害である」ということを生徒たちにしっかりと伝えていきます。保護者や地域の皆様もご理解、ご協力をお願いいたします。

今後の行事予定

6月16日 安全指導
17日 体力テスト(終)
18日～20日 期末考査
23日 水泳指導(始)
25日～27日 宿泊学習(5組1・2年)
7月 3日 歯科講話(1年)
5日 土曜授業日 学校公開
セーフティ教室
7日 振替休業日

7月 8日 安全指導
11日 進路説明会
16日 避難訓練
15日 ノーチャイムディ
17日 大掃除
18日 終業式
22日 三者面談(始)
31日 三者面談(終)

☆5月28日～30日 3年生修学旅行

- 1日目：新幹線で京都駅へ。京都で近鉄線に乗り換えて奈良へ向かいました。近鉄奈良駅へ到着後、東大寺へ向かい南大門の側でクラス写真を撮影、その後東大寺に入り、班ごとに計画を立てたコースで班行動を行いました。近鉄奈良駅でチェックを受け、班ごと宿舎へ向かいました。混雑の関係で多少時間に遅れる班がありましたが、全班無事に宿舎へ到着し、1日目を終えました。
- 2日目：宿舎でバス・地下鉄の1日乗車券をもらい、事前学習で班ごと考えたコースに出発しました。平日でしたが、インバウンドの関係等もあり、観光客が多く混雑している中、計画通りに場所をまわれるように班ごと工夫をしていました。混雑の関係で計画を変更せざる負えない班もありましたが、本部の先生に事前に連絡をして、進めていました。宿舎へ戻る時間に少し遅れる班もありましたが、遅れる旨を事前に本部の先生に連絡をしていたので、時間を守る意識は素晴らしかったと思います。2日目も全班無事に宿舎へ戻り、2日目を終えました。
- 3日目：最終日は、タクシー行動です。出発前に各班、運転手さんと顔合わせをして半日のコースを伝え、出発しました。渋滞等の関係で、京都駅へ戻る時間が少し遅れてしまった班もありましたが、全班無事に戻ってきました。京都駅で解散式を行い、新幹線で品川駅に向かいました。品川駅到着後、乗り換えをして新小岩駅で解散。東京に戻り、少し雨に降られましたが3日間天気にも恵まれ無事に修学旅行を終えることができました。毎晩、班長会議を行っていました。翌日に向けて、その日にあった課題解決に向けての意見交換や工夫など活発な話し合いがあり、自分たちで修学旅行を成功させようという班長さんたちの思いが、3年生の生徒みんなの思いになっていったように思えます。修学旅行で学んだことを普段の生活にもいかし、3年生の成長する姿を期待しています。細かいことはいろいろとありましたが、とても素晴らしい修学旅行でした。